

令和5.1.20実施

# 精華女子高等学校 専願入学試験問題

## 国 語

### 看護科

#### 受験上の注意

1. 試験開始の合図があるまでこの問題冊子の中を見てはいけません。
2. 制限時間は50分です。
3. 解答用紙はこの冊子の間にはさんであります。
4. 解答用紙には受験番号・氏名を記入してください。
5. 退室するときは、机の上に解答用紙を裏返して置き、その上に問題冊子を重ねてください。
6. 字数指定の問題については、句読点・記号などあれば、字数に含みます。

受験番号	氏名
番	

次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。(ただし、問題の都合上、一部改変したところがあります。)

①「個」の意見と存在が尊重される多様性社会

多様性の価値を認めない社会、すなわち多くの人が同じ意見でまとまってる社会というのは、「個」が尊重されない社会です。個々に違う意見をもっているからこそ、それぞれの意見を聞く必要が生じるわけで、それによって一人ひとりの価値や個性をお互いが認識するのです。みんなが同じ意見なら、誰か一人に聞けばそれで済み、そのことで全体の意見が代表されるというコウ率性<sup>a</sup>はあるかもしれませんが、実際には全員がまったく同じ意見などということはあり得ないでしょう。それはみなさんも日々経験しているはずです。まったく何のセイ限<sup>b</sup>もなかったとき、全員の意見がびったり一致するなどということはないのではいでしょうか。本当は微妙に違うこともあるのだけれど、みんながだいたい同じように考えているのであれば、自分もそれでいいや、それに揃えよう。よほど大切なことでなければ、自分が著しく不利になるのでなければ、細かな違いには目をつぶっておこう。それが正直なところではないのでしょうか。

そして何より問題なのは、もし一人の人に意見を聞いて、それで済んでしまうのであれば、聞かれた以外の人の存在意義が希薄になってしまふということですよ。AさんがAさんである価値、BさんがBさんである価値を見出すことが難しく、それはつまり、私たち一人ひとりの価値がおざりにされるといふことにほかなりません。もし私がいなかったとしても、私と同じ意見のほかの人がいればそれでいいということになりかねません。もちろんそんな状態は、誰も望まないでしょう。私は私、ほかの誰によっても置き換えられる存在ではありません。

でも、私なんてそんな大した存在じゃないと思う方が、もしかしたらいるかもしれません。それでは、あなたの大切な家族や友だちを、ほかの人で置き換えることができるでしょうか？ もちろんできませんよね。あなたが、あなた以外の人で置き換えられないのは、それと同じことです。

自分が自分らしくあることに後ろ指を指されない、自分の選択がたとえ少数派だったとしても尊重される、自分という人間の価値が認められる——多様性社会<sup>③</sup>というのは、社会としての持続力があるのとどまらず、それを構成する一人ひとりにとって、居心地のよい、ストレスのない社会なのです。自分が自分である意味を強く実感できる社会だともいうことができるでしょう。

多様性社会の心地よさをイメージするには、たとえば小学生のランドセルの色を考え

るとわかりやすいかもしれません。

少し前まで、ランドセルの色といえば、男の子が黒、女の子が赤と、暗黙の了解がありました。

(中略)

ところが、ここ数年でランドセルの色をめぐる状況が大きく変わりました。ピンクやブルー、パープルといった、それはそれはカラフルなランドセルが続々と登場し、黒や赤にこだわる必要はなくなりました。

それぞれが、本当に好きな色を選ぶことができるようになったのは、たくさん色のランドセルがお店に並んでいるからという物理的な事情もありますが、それ以上に、何色でも好きな色をもつことが認められているという前提があるからです。赤をもっている子がピンクをもっている子を、色が違っていることが理由で批判することはありません。

もしかすると、定番といわれる赤をもっている子どもが大多数かもしれませんが、それは、赤が多数派というただそれだけのことで、ピンクが間違っている、ということではありません。「何色をもつことも、お互いに認め合っている」という前提があれば、少数派の色をもつこともストレスになることなどありません。B「ピンクをもっている子」と呼ばれたとしても、そこにそれを排除しようという響きはなく、むしろ、その個性を尊重した呼び方だといえるでしょう。だから誰もが、なにもものにも縛られず、自由に自分が本当に好きな色を選択できるわけです。そしてそうなってくるとむしろ、自分はほかの子とは違った色のランドセルをもちたい、そんな子どももC出てくるでしょう。

これこそが、まさに多様性社会の縮図です。つまり、ランドセルの色のように、それぞれの生き方や考え方をお互いが素直に認め合える社会こそが、本当に居心地のいい、幸せな社会、そしていざというときにも力を発揮する社会なのではないかと思うのです。

自分で考え、判断し、行動に移してこそ、社会は変わる

一方で、男の子は黒、女の子は赤、という暗黙の了解がある時代のほうが、保護者も子どもも楽だった、という面もたしかにあります。ランドセルの色を選ぶ際に、何も考えなくてもよいからです。ところが色の選択肢が増えてしまうと、そもそもどんな選択

股があるのかをよく調べて、その中で自分ほどの色が好きなのか、今後6年間つき合うランドセルは何色にするか……といろいろ考えなければなりません。けれども、この、自分で考えて選択する（実行する）、という行為こそ、私たちが「空気を読む」社会の中で失ってきたもののなのです。

「考えない」ことに慣らされてしまった多くの人は、男の子は黒のランドセル、女の子は赤のランドセルという空気に、なんの疑問もたず、なんとなくそれに従って、黒か赤のランドセルをもっている、そもそも、それ以外のほかの色のランドセルがあることなど考えたこともない、黒や赤のランドセルを自分自身もっていることに確固とした根柢はないのに、それ以外のランドセルをもっている子を「異端」として見ている、という状態にあります。そして本当はピンクのランドセルをもちたいのに、まわりと違う色を選ぶ勇気がなくて、しぶしぶ赤のランドセルをもっている、だから、ピンクのランドセルをもっている子がいたら、「私だってガマンしているのに、なんであの子だけ……」と嫉妬する——そんな人も実は確実に増えているのではないかと思えます。こうした内面の葛藤<sup>④</sup>が生まれているのは若干の「進歩」かもしれませんが、それでも、

嫉妬だけでは「ランドセルの色の変化」という新しい世界は生み出せません。出た杭を打っただけでは、世界は変わらないのです。杭が飛び出ることを許ヨウするところまで、さらにもう一步、進む必要があります。

自分自身で考え、判断をする。 **D** そこまで来たのであれば、勇気をもって、その判断に従った行動に進みましょう。一人ひとりのその行動が、少しずつ社会を変えていきます。それは大海の一滴にすぎません。されど、最初の一滴から、すべての海は始まるのです。

誤解のないように繰り返しますが、私が言っていることは、常に人と違う行動をなさいということではありません。多数派と同じ判断をしたとしても、それが「空気を讀んだ」結果の判断なのか、それとも自分の頭で考えて下した判断なのか、そのどちらであるかで、その意味は大きく違ってきます。

（足立直樹『もう空気は読まなくていい ポスト3・11を生き抜くために』）

（注）異端……正統から外れていること

問一 線 a、c と同じ漢字を含むものを次のア、エからそれぞれ一つずつ選び、記号で答えなさい。また、その漢字を書きなさい。

- |   |     |   |          |   |                    |   |                  |   |                |
|---|-----|---|----------|---|--------------------|---|------------------|---|----------------|
| a | コウ率 | ア | 作品を投コウする | イ | 菓の <u>コウ</u> 果     | ウ | 論文を参コウにする        | エ | コウ外の住宅地        |
| b | セイ限 | ア | セイ服を着る   | イ | お菓子 <u>を</u> セイ造する | ウ | 棚 <u>を</u> セイ理する | エ | 選手宣 <u>シ</u> イ |
| c | 許ヨウ | ア | 休ヨウが大切だ  | イ | ヨウ稚園に通う            | ウ | 必ヨウなものを買う        | エ | 美ヨウ室を予約する      |

問二 空欄 **A**、**D** に入る語句として適当なものを次のア、カからそれぞれ一つずつ選び、記号で答えなさい。

- |   |    |   |     |   |      |   |     |   |      |   |     |
|---|----|---|-----|---|------|---|-----|---|------|---|-----|
| ア | なぜ | イ | たとえ | ウ | せっかく | エ | まるで | オ | めったに | カ | きつと |
|---|----|---|-----|---|------|---|-----|---|------|---|-----|

問三 線①「多様性の価値を認めない社会」を、筆者はどのような社会だと言っていますか。本文中から十字程度で二つ抜き出して答えなさい。

問四 線②「それ」が指す内容を、本文中の語句を用いて二十五字以内で答えなさい。

問五 — 線③「多様性社会」について、

(1) 筆者が考える「多様性社会」に当てはまらないものを次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

ア 自分の意見が少数派でも認められる社会

イ 社会を構成する人々にとって負荷のない社会

ウ 他者に対して自由に意見を言える社会

エ 自分の存在理由を実感できる社会

(2) 「多様性社会」の心地よさをイメージするために、筆者は「小学生のランドセルの色」の事例を紹介しています。筆者は、ランドセルの色を選択できるようになった理由は何かと考えていますか。本文中から三十字程度で抜き出して答えなさい。

問六 — 線④「葛藤」とは「心の中に相反する動機・欲求・感情などが存在し、そのいずれをとるか迷うこと」という意味ですが、ランドセルの事例においてはどのような気持ちの間で葛藤していますか。本文中の語句を用いて二十五字以内で二つ答えなさい。

問七 筆者の意見として最も適当なものを次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

ア 社会を構成するすべての人が、多様性を認めてどんな時でも思うままに行動することが大切である。

イ 社会を構成するすべての人が、自己の存在意義を認識して他者と違う行動をすることが大切である。

ウ 何か行動をする際には、他者に意見を求め、それを参考にして行動することが大切である。

エ 何か行動をする際には、自分で考えて選択し、それに従って行動していくことが大切である。

問八 下に示すのは、五人の女子中学生が本文と「2021年入学の新1年生女子に聞いた！何色のランドセル使ってる？」という資料をもとに、自分たちの小学生時代を振り返って話し合った場面です。会話を

読んで生徒A～Eのうち、グラフの内容や筆者の主張に合っている生徒を一人選び、記号で答えなさい。

生徒Aさん — 今の小学生も赤系とピンク系のランドセルを選ぶ人が多数派だね。やっぱり筆者の言う通り、

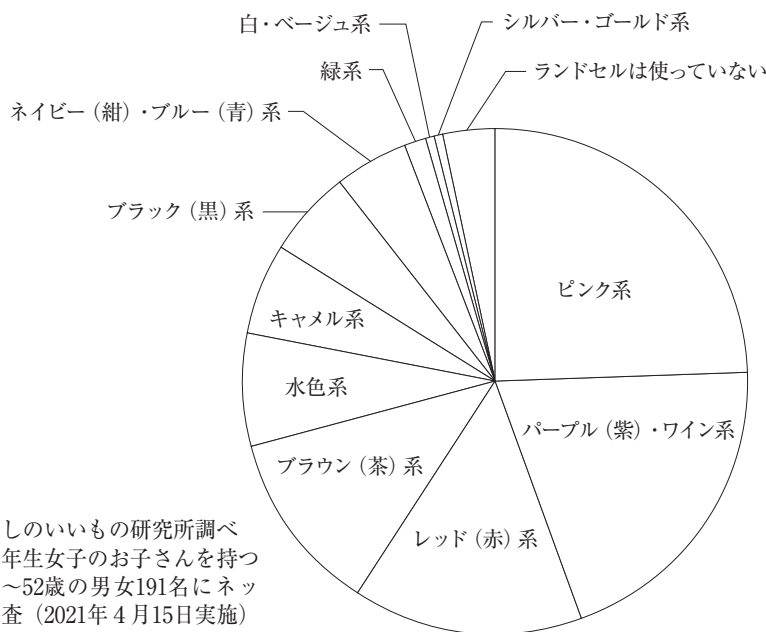
女子は赤系を選ぶのがいいのかな。

生徒Bさん — 紫もピンクに次いで多いね。私は赤色のランドセルを使っていたけれど、紫のランドセルを使っている子もいて、それはそれで認められるべきだよね。

生徒Cさん — 私は、グラフでは五番目に人気のある水色を選んだよ。でも、たくさん色があったから迷ってしまったし、色が増え過ぎるのはよくないよね。

生徒Dさん — そうだよな。グラフにも十色以上あるけれど、たくさん色があると考えるのが面倒だよな。だからみんな同じ色を使うべきだと本文でも主張されているね。

生徒Eさん — 紫系や茶系などの少数派だったとしても、私はみんなが好きな色のランドセルを持ってお互いに認め合える方がいいと思うよ。



※くらしのいいもの研究所調べ  
新1年生女子のお子さんを持つ  
29歳～52歳の男女191名にネット調査(2021年4月15日実施)

2021年入学の新1年生女子に聞いた！何色のランドセル使ってる？



次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

これはラグビーチーム「ヤンチャーズ」のメンバーであり、がんで入院している宇多津の病室にチームのメンバーが見舞いに来た場面である。

ノックの音の後、ドアが開いた。

担当の看護師が「失礼します」と顔を覗かせた。

「二階堂さんという方がお見舞いにいらっしやいました」

程なく、チーム最年少の二階堂謙信が現れた。かご入りのフルーツを持っている。

古典的な見舞いの品だ。

「仕事はどうした」

「休みました」

病室をキョロキョロと見回しながら、淡々とした口調で答える。

「大丈夫か……」

細身に童顔のこの男は、確か息子と

A

同い年だった。

坊主頭が童顔を尚更際立たせる、家庭用のバリカンで自ら刈っているという。

不惑ラグビーとはいわれるものの、三十代の者を入れているチームも多い。二階堂

もその一人だ。

二階堂は登紀子にフルーツのかごを手渡した。

「お気遣い、ありがとうございます」

登紀子が礼を言うと二階堂は無言のままぎこちなく頭を下げた。

四十近くになっても、どこか世馴れていない。よく言えば、擦れていない。

世代のギャップを差し引いてもなお、つかみどころのない男だ。

①ウタさんは、どうしてラグビーを始めたんですか」

二階堂から唐突に訊かれ、宇多津は面食らった。

「どうだったろう。五十年以上も前のことだからね」

時を遡り、思いを馳せる。

するとまたノックの音。コン、コンと間の空いたゆっくりとしたノック。

この音は、あの男だ。

開いたドアから顔を覗かせたのは

B

丸川だった。うつむき加減の前傾姿勢で

「おはようございます」と小さく言った。

「おはよう、今日は来客が多い日ようだ」  
宇多津は丸川に言った。

二階堂に気付いた丸川は、気まずそうに目を伏せながら頭を下げた。

「こんにちは、久しぶりです」

ちょこんと頭を下げる二階堂。素っ気ないが、こちらは気まずさのかけらも感じられない。「久しぶり」という言葉にも他意や皮肉は含まれていない。

「みんな入れ替わり立ち替わりよく来てくれる。病人をいたわる気持ちがないのかね」

また悪態を吐いてみる。

治る見込みのない病の床で、見舞いに来るのは四十年間勤めた会社の仲間ではなく、

楢円のボールの縁で繋がったラグビー仲間ばかりだ。

「お二人とも、暑かったでしょう。売店で飲み物を買ってきます」

登紀子は病室を出て行った。

「マルさん、今、謙信にどうしてラグビーを始めたかと訊かれてたところだよ。マルさんはどうだい」

「高校の時、怖い先輩に強引に入部させられて」

きっかけは人それぞれだ。望んで始めたわけではなくても、丸川のように素質に恵まれた者もいる。

「私は弱かった。だからラグビーを始めた」

宇多津少年は細くて身体が弱く、運動神経も悪かった。だからラグビー部に入った。

あべこべな話だが宇多津の動機はそこにあった。

「強くなりたかった。最初はそれだけだった」

宇多津は戦争を知らない子供だった。戦争が終わった後の人生を「端数の人生」だと言

父がどんな気持ちで戦地に向かったのか、千分の一でもいいから知りたかった。

高校入学初日のグラウンドで初めてラグビーを間近に見た時、これだと思った。

「こんな激しいスポーツがあるのかと驚いてね。度胸試しみたいなものだ」

死ぬ気になるのは難しい。ラグビーを始めてから痛感したことだ。

生まれてこなかった自分というものを意識すると、何だっただけの気がした。

だがグラウンドで相手と対峙すると恐怖に駆られる。

万年補欠選手の宇多津少年にとって、敵は他の誰でもなく自分だけだった。

練習中のグラウンドで、自分よりずっと体格のよいチームメイトに、臆することなく

ぶつかっていけるか。

修行のようなものだった。

「コンタクト練習や紅白戦では己を身体ごと投げ捨てるような気持ちで、チームメイトにぶつかっては吹っ飛ばされた。」

「何度ぶつかっても恐怖は消えなかった。自分の腰抜け具合がもどかしかったよ」  
戦地に向かった父の気持ちに近付けたかは分からない。

ただ父はこの何千倍、何万倍もの恐ろしい思いをして帰ってきたのだろうということだけは少し想像できるようにになった。

「結局、ほとんど上達しないまま高校三年間、ラグビーを続けた」

休まず熱心に練習に出続けたが、潔いぐらいさっぱり上達しなかった。宇多津少年はこの三年間で学んだ。人間にはどうしようもないこともあるのだ、と。

「高校三年の最後、送別試合の紅白戦で一度だけトライを決めた」

相手陣内の深い位置で、レギュラーチームのフランカーに、宇多津は捨て身でタックルを仕掛けた。

倒した。這はいつくばるようにしてボールにしがみついた。

気付いたらボールを抱えてゴールラインの向こうに倒れ込んでいた。

「たった一度の、それも送別試合の紅白戦でのトライだ。だが、あのトライがなかったら、自分の人生は全く違ったものになっていただろう」

宇多津はあのワントライを心に抱いて生きた。

「ラグビーを無心に楽しむようになったのは、ヤンチャーズを創つてからのことだ」

四十五を過ぎ、海山物産で異例の昇進を言い渡されて急激に責任が重くなった頃、ふとラグビーボールに触れなくなった。

社内のラグビー経験のある者を募り、七人制の草ラグビーチームを作った。一番下手くそな宇多津が発起人となった。

そのチームが不惑ラグビーチーム『ヤンチャーズ』の始まりだった。

ヤンチャーズの一員として過ごす時間、宇多津貞夫は取締役でも常務でもなく、ウタさんウタさんでいられた。

「謙信、君はどうしてラグビーを始めた」

二階堂が初めて練習を見学しに来たのは確か五年前。

部員不足に悩んでいたヤンチャーズは大勧誘作戦を展開。三十代の不惑予備軍を募っていた時、主将の金田が取引先の若手や中堅社員を強引に誘い、五人も連れてきた。

その中の一人が二階堂だった。

「キンちゃん連れてきた五人の中で、君が一番やる気がなさそうだった。でも入部したのは君一人。驚いたよ」

ヤンチャーズ流の悪態を吐いてみる。

「**X**。この競技なら、ほくでも活躍できるかなと」

「おいおい、みんなに怒られるぞ」

ひと昔前の若者言葉では、KYとか不思議ちゃんなどというのだろうか。

「ラグビーは真横か後ろにしかパスを放れない。前進したいのに、前には投げられない。こんなに難儀なスポーツは、なかなかないと思うよ」

宇多津は笑った。

「後退しながら前へ進むうとする。**C** 人生みたいじゃないか」

「なるほど」

二階堂は飄々とした目を窓の外へ向けると、それきり黙りこくった。

窓の外からはクマゼミの声が聞こえる。

「お待たせしました」

登紀子がペットボトルのお茶を二本持って病室に戻ってきた。

丸川は恐縮して受け取ると、キャップを開けて半分ほど一気に飲み干した。

「そういえば最近みんな、何やらもめているようだね」

宇多津は、さりげなく二人に向けて話を振ってみた。

丸川は「申し訳ありません」と頭を下げた。

「いい歳したオヤジたちにも、喧嘩けんかは絶えないものだね。『四十にして惑わず』なんていうが、なかなか難しい」

「その一節、ぼくは大嫌いです。全く共感できません」

「二階堂謙信にかかれれば、孔子先生の論語もかたなしだな」

宇多津は笑った。

「四十歳で惑いのない人なんて、この世の中にいるんでしょうか」  
もつともだ。

**Y**。

ヤンチャーズのチーム理念は達観的な不惑ふたふたの概念とは相容れぬものだ。

「帰ります。お大事に」

話したいことを話したら帰る。二階堂らしくて清々しいと思った。

ところが「帰る」と言ったり黙ったまま、二階堂はその場に立っている。

「どうした」

宇多津が尋ねると二階堂は「いや、別に」と曖昧に流す。

少しの間の後、言った。

「グ、グ……、グラウンドで会いましょう」

**D** 彼はこれを言いに来たのだと確信した。彼なりに、言っているものかどう

か、ためらっていたのだろう。

君は空気など読まなくていい。そう言ってやりたかった。

「もちろんだ」

宇多津は言った。

二階堂は笑みを浮かべると、帰っていった。

「みんな面白い連中だ」

宇多津の眩きに、丸川はぎこちない笑みで応えた。

(安藤祐介『不惑のスクラム』)

(注1) 不惑……四十歳のこと。ここでは四十代のこと

(注2) 登紀子……宇多津の妻

(注3) 対峙……じつとにらみあって対立すること

(注4) フランカー……ラグビーのポジションのひとつ

(注5) 飄々……とらえどころのない様子

(注6) 達観……広く視野を持って全体を見通すこと

問一 〰〰〰線 i 「つかみどころのない」・ii 「あべこべな話」・iii 「かたなし」の意味として最も適当なものを次のア～エからそれぞれ一つずつ選び、記号で答えなさい。

i 「つかみどころのない」 ア まるでわかりあえないこと イ はっきりとわからないこと

ウ 人と同じ行動をしないこと エ 誰からも好かれないこと

ii 「あべこべな話」 ア 本来の筋とは反対の話 イ 特別な事情がある話 ウ 同じような流れの話 エ 他人には理解されない話

iii 「かたなし」 ア わかってもらえない イ 意味が分からない ウ 形がなくなる エ 面目を失う

問二 空欄 A 〰 D に入る語句として適当なものを次のア～オからそれぞれ一つずつ選び、記号で答えなさい。

ア きつと イ ほぼ ウ けつして エ まるで オ やはり

問三 本文の空欄 X 〰 Y に入る文章として最も適当なものを次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

X ア 面白そうだったからです イ 難しそうだったからです ウ 簡単そうだったからです エ 強くなれそうだったからです

Y ア いつまでも、学び続けよ イ 老いてなお、やんちゃであれ ウ 恐れるな、何事にも動じるな エ 夢を抱いて、一つになれ

問四 線①「ウタさんは、どうしてラグビーを始めたんですか」とありますが、宇多津がラグビーを始めた理由を、三十五字以内で説明しなさい。ただし、「父」という語を必ず用いなさい。

問五 — 線②「七人制の草ラグビーチームを作った」とありますが、それはなぜですか。最も適当なものを次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 会社での仕事や人間関係などに関わらず、一人の人間として何も考えずにラグビーをプレイしたかったから。
- イ 会社でのストレスを発散するため、なんでもいいからとにかくスポーツをして、体を動かしたかったから。
- ウ 会社で出世して不安になることが増え、自分の人生を変えたラグビーをすることで自信を取り戻したかったから。
- エ 会社とは全く関係のないラグビーチームを作ること、チームの頼られるリーダーとして活動したかったから。

問六 — 線③「黙ったまま、二階堂はその場に立っている」とありますが、このときの二階堂の心情として最も適当なものを次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 長い間入院してつらい思いをしている宇多津を励ますため、どんな言葉を掛けるべきかずっと迷っている。
- イ 本当は色々と宇多津に相談したい事があるのだが、チームメイトの中でも仲の悪い丸川がいるので言えないでいる。
- ウ 思ったよりも元気そうな宇多津がチームに戻って来てくれるのを期待して、その喜びのあまり何も言えないでいる。
- エ 非常に重い病気で入院している宇多津のことを思って、自分の伝えたいことを言うべきか悩んでいる。

問七 登場人物の説明として最も適当なものを次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 二階堂はまだ若く無邪気で純粋なところがあるが、自分が正しいと思っただけでも口に出す自分勝手な面もある。
- イ 宇多津はわざと憎まれ口をたたくことはあるが、周囲をよく見ており、常にチームの仲間の事を気にかけている。
- ウ 丸川は身体は小さいが前に向かっていく姿勢や、気持ちがよく顔に現れるところはラグビーに向いている。
- エ 宇多津の妻は病気の夫を支え、見舞客に対しても礼儀正しく気を配っているが、内心は不満がたまっている。



次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

今は昔、<sup>(注1)</sup> 隱題をいみじく興ぜさせ給ひける御門の、<sup>(注2)</sup> 箏篳を詠ませられけるに、人々たいへんたしなんでいらつしやつた天皇が、  
詠ませなされた時に

わろく詠みたりけるに、木こる童の、<sup>ii</sup> 暁、山へ行くと言ひける。「この頃箏篳を上手くなく  
木こりの 明け方に

<sup>A</sup> 詠ませさせ給ふなるを、人のえ詠み給はざる、童こそ詠みたれ」と言ひければ、  
上手く詠みなさるゝことができないそうだ

具して行く童部、「あな、おほけな。かか事ないひそ。」<sup>①</sup> <sup>②</sup> さまにも似ず、いまいまし  
一緒に行く 身の程知らずな。そのようなことを言うな

と言ひければ、「なごか、必ずさまに似る事か」とて、  
どうして

めぐりくる春々ごとに桜花いくたびちりき人に問はばや  
問いたいものだ

<sup>B</sup> といひたりける。さまにも似ず、<sup>③</sup> 思ひかけずぞ。

〔宇治拾遺物語〕

(注1) 隱題……歌の内容に関係なく、事物の名を隠して詠み込んだ和歌  
(注2) 箏篳……中国から伝来した竹製の管楽器

問一 〰〰線 i 「給ひ」は「たまひ」、ii 「童」は「わらは」と読みます。それぞれ現代かなづかいに直して全てひらがなで答えなさい。

問二 〰〰線 A 「詠ませさせ給ふ」、B 「いひたりける」の主語を次のア～オからそれぞれ一つずつ選び、記号で答えなさい。

- ア 御門      イ 人々      ウ 童      エ 童部      オ 作者

問三 〰〰線 ① 「かか事」とありますが、何について言っていますか。本文中から抜き出し、最初と最後の三字をそれぞれ答えなさい。

問四 〰〰線 ② 「さまにも似ず、いまいまし」の訳として最も適当なものを次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 木こりという仕事をする人たちとは違って、弱々しい。  
イ 木こりという仕事をする人たちとは違って、自信家だ。  
ウ 木こりという仕事の雰囲気似合わず、憎らしい。  
エ 木こりという仕事の雰囲気に似合わず、今どき風だ。

問五 〰〰線 ③ 「思ひかけずぞ」とありますが、そのように思った理由を次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 木こりの少年が御門に文句を言うとは思わなかったから。  
イ 木こりの少年が和歌の名手になるとは思わなかったから。  
ウ 木こりの少年が上手に箏篳を吹くとは思わなかったから。  
エ 木こりの少年が見事な和歌を詠むとは思わなかったから。

問六 本文の和歌において、隱題はどこにありますか。解答欄に和歌の該当する部分を  で囲みなさい。

令和 5. 1. 20 実施

# 精華女子高等学校 専願入学試験問題

## 数 学

### 看 護 科

#### 受験上の注意

1. 試験開始の合図があるまでこの問題冊子の中を見てはいけません。
2. 制限時間は50分です。
3. 解答用紙はこの冊子の間にはさんであります。
4. 解答用紙には受験番号・氏名を記入してください。
5. 退室するときは、机の上に解答用紙を裏返して置き、その上に問題冊子を重ねてください。
6. 円周率は $\pi$ で表します。
7. 答えに無理数が含まれるときは $\sqrt{\quad}$ の中を最も小さい整数とします。

受 験 番 号	氏 名
番	

**1**

次の問いに答えなさい。

- (1)  $-6 \div (-2) + 7$  を計算しなさい。
- (2)  $0.125 \times 16$  を計算しなさい。
- (3)  $(-ab)^3 \times \frac{1}{a^4 b^4} \div \frac{a}{b^2}$  を計算しなさい。
- (4)  $\sqrt{50} - \sqrt{48} - \sqrt{8} + \sqrt{27}$  を計算しなさい。
- (5) 1でも素数でもない自然数を合成数といいます。合成数の素因数の各位の数の和が、もとの合成数の各位の数の和に等しい場合、この合成数をスミス数といいます。
- 例えば、合成数85について、素因数は5と17ですから合成数85の素因数の各位の数の和は  $5 + 1 + 7 = 13$  です。また、合成数85の各位の数の和は  $8 + 5 = 13$  です。このことから、合成数85はスミス数です。
- 下の5つの合成数のうち、スミス数をすべて選んで答えなさい。
- 6, 22, 35, 77, 265
- (6) 二次方程式  $x^2 - (a + 4)x - 6a = 0$  の解の1つが  $x = -1$  であるとき、他の解を求めなさい。
- (7) 関数  $y = -\frac{1}{4}x + 2$  について、 $x$  の値が  $-3$  から  $1$  まで変わるとき、 $y$  の増加量を求めなさい。
- (8) 4枚のカード  $\boxed{1}$ ,  $\boxed{2}$ ,  $\boxed{3}$ ,  $\boxed{4}$  を横1列に並べて4けたの整数をつくります。この整数のうち、小さい方から10番目は何か答えなさい。

(9) 正  $n$  角形の 1 つの外角は  $45^\circ$  です。  $n$  の値を求めなさい。

(10) 下の図のような長方形 ABCD において、頂点 A が頂点 C に重なるように折り曲げます。折り目は線分  の  上にできます。(ア), (イ) にあてはまる組み合わせとして適切なものを、次の ① ~ ④ から 1 つ選び、番号で答えなさい。



- ① (ア) BD (イ) 二等分線
- ② (ア) AC (イ) 垂直二等分線
- ③ (ア) BD (イ) 垂直二等分線
- ④ (ア) AC (イ) 二等分線

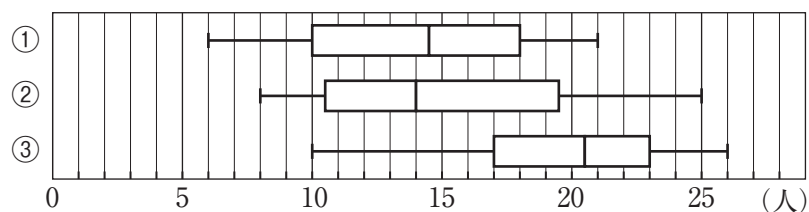


## 2

ある中学校の2年生は、全部で12クラスです。また、どのクラスにも30人ずつの生徒が在籍しています。この中学校では、各クラスで身近なSDGsへの取り組みについての話し合いが行われています。はなさんのクラスは、2年生12クラスを対象に「エコバッグ」「マイボトル」「マイ箸<sup>はし</sup>」の3つの物品の使用状況について調査をすることになりました。次の表は、この3つの物品を普段カバンに入れている生徒の人数をまとめたもので、箱ひげ図は3つの物品の調査結果を表したものです。

下の問いに答えなさい。

クラス(人)	1組	2組	3組	4組	5組	6組	7組	8組	9組	10組	11組	12組
エコバッグ	(ア)	15	8	11	23	25	13	18	10	21	14	9
マイボトル	19	20	15	24	21	23	10	26	18	(イ)	22	16
マイ箸	6	18	14	6	15	20	9	12	16	18	21	11



(1) 「エコバッグ」「マイボトル」「マイ箸」の箱ひげ図を、①～③から1つずつ選び、それぞれ番号で答えなさい。

(2) 箱ひげ図を見て、上の表の(ア)、(イ)にあてはまる数を求めなさい。

(3) 「マイ箸」の使用人数の平均値を求めなさい。ただし、四捨五入して小数第一位までとします。

- (4) はなさんは、箱ひげ図から、次のように自分の考えをまとめました。次の(i)~(iv)のうち、誤っているものを2つ選び、記号で答えなさい。また、その正しい語句または数をそれぞれ書きなさい。



はなさん

四分位範囲が大きいほど、データの散らばりは (i) 大きい と授業で習っています。このことから、データの散らばりがもっとも小さいのは (ii) ② の箱ひげ図です。③ の箱ひげ図から読み取れることを考えると、中央値から、この物品を 20 人以上使用しているクラスは (iii) 8 クラス以上です。また、第 1 四分位数から、この物品を 16 人以下が使用しているクラスは全体の (iv) 25 % 以下です。

3

太郎さんと花子さんがコイン投げゲームで遊んでいます。コイン投げゲームには、次の3つのルールがあります。

ルール① コインの表が出たら  $x$  点、裏が出たら  $y$  点の得点がもらえる。

ルール② 太郎さんと花子さんは、コインをそれぞれ同じ回数ずつ投げる。

ルール③ 合計得点の多い方を勝ちとする。

次の会話は、太郎さんと花子さんがゲームをしているときの会話です。



太郎「1戦目は、 $x = 3$ 、 $y = 1$ として、コインを10回ずつ投げましょう。」

(それぞれ10回ずつ投げる)



花子「わたしは、表が4回、裏が6回出たので、合計  点でした。」



太郎「わたしは、表が  回出たので、合計16点でした。花子さんの勝ちですね。」



花子「2戦目は、20回ずつ投げましょう。」

(それぞれ20回ずつ投げる)



太郎「わたしは、表と裏がちょうど10回ずつ出て、合計得点は50点でした。」



花子「わたしは、表が裏の3倍の回数出たので、合計得点は45点でした。太郎さんの勝ちですね。」

上の会話を読んで、次の問いに答えなさい。

- (1) (ア)、(イ)にあてはまる数をそれぞれ答えなさい。

(2) 2戦目のゲームについて、コインの表が出たときの得点  $x$  と、裏が出たときの得点  $y$  をそれぞれ求めなさい。

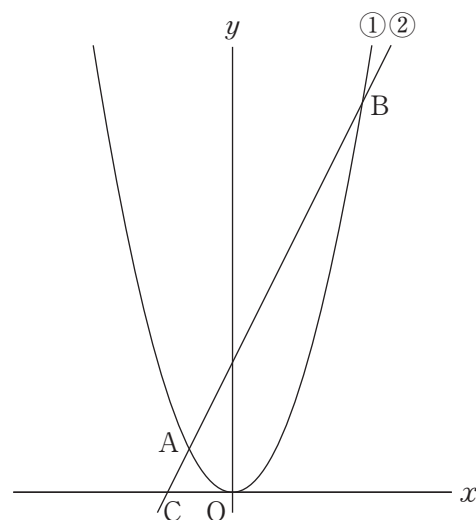
(3) 3戦目は  $x = 3$ ,  $y = -2$  として、コインを10回ずつ投げると、太郎さんの合計得点は0点となり、花子さんに負けました。このとき、花子さんは10回のうち表を何回以上出したか答えなさい。



**4**

右の図のように、関数  $y = x^2 \cdots \textcircled{1}$ 、一次関数  $y = 2x + 3 \cdots \textcircled{2}$  のグラフがあり、 $\textcircled{1}$ 、 $\textcircled{2}$  のグラフの交点を A, B とします。点 A, B の  $x$  座標はそれぞれ  $-1$ ,  $3$  です。

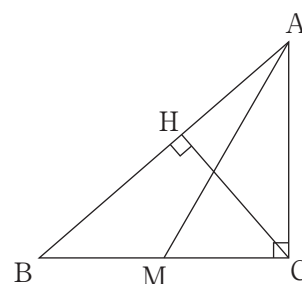
次の問いに答えなさい。



- (1) 直線  $\textcircled{2}$  のグラフと  $x$  軸との交点を C とするとき、点 C の座標を求めなさい。
  
  
  
  
  
  
  
  
  
  
- (2)  $\triangle OAB$  の面積を求めなさい。
  
  
  
  
  
  
  
  
  
  
- (3) 点 A, B から  $x$  軸に下ろした垂線と  $x$  軸との交点をそれぞれ D, E とします。四角形 ADEB について、 $x$  軸を軸として一回転させてできる立体の体積を求めなさい。
  
  
  
  
  
  
  
  
  
  
- (4) 放物線  $\textcircled{1}$  上に、3 点 O, A, B とは異なる点 P をとります。点 P を通り、線分 AB に平行な直線と  $x$  軸との交点を Q とします。四角形 ABPQ が平行四辺形となるような、点 P の  $y$  座標を求めなさい。

5

(図 I) のような直角三角形 ABC において、辺 BC の中点を M、頂点 C から辺 AB に垂線を下ろしたときの交点を H とします。また、 $AB = \sqrt{7}$ 、 $BC = 2$ 、 $CA = \sqrt{3}$ 、 $AM = 2$ 、 $\angle AMC = 60^\circ$  です。  
次の問いに答えなさい。



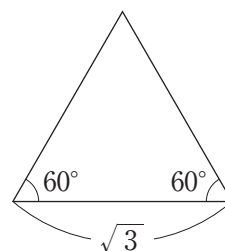
(図 I)

(1)  $\triangle ABC$  と相似な図形を、下のア～エからすべて選び、記号で答えなさい。

ア.  $\triangle ACH$     イ.  $\triangle AMC$     ウ.  $\triangle CBH$     エ.  $\triangle AMB$

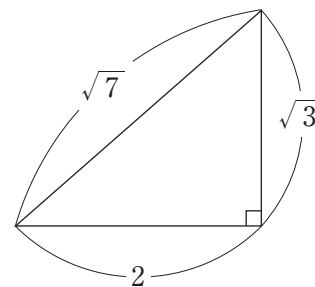
(2) 線分 CH の長さを求めなさい。

(3) 右の (図 II) ~ (図 IV) のような三角形があります。



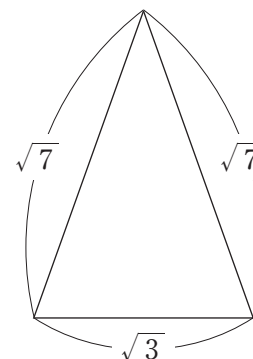
(図 II)

①  $\triangle AMC$  の辺の長さの比を用いて、(図 II) の三角形の面積を求めなさい。



(図 III)

② (図 I) ~ (図 IV) の三角形を 4 つの面とする三角錐をつくります。  
この三角錐の体積を求めなさい。



(図 IV)

令和5.1.20実施

# 精華女子高等学校 専願入学試験問題

## 英 語

### 看 護 科

#### 受験上の注意

1. 試験開始の合図があるまでこの問題冊子の中を見てはいけません。
2. 制限時間は50分です。
3. 解答用紙はこの冊子の間にはさんであります。
4. 解答用紙には受験番号・氏名を記入してください。
5. 退室するときは、机の上に解答用紙を裏返して置き、その上に問題冊子を重ねてください。

受 験 番 号	氏 名
番	

**1** 次の英文を読んで、(1)～(4)に入る適切な語を下のア～オから1つずつ選び、記号で答えなさい。

Lucy is one of my friends. One day, she ( 1 ) an e-mail to me. She used the words young people like to use ( 2 ) days. “I want to C U at the party. But I’ll be L8 because of a meeting. Please W8 for me to come.” “C U” means “( 3 ) you,” and then “L8” and “W8” mean “late” and “( 4 ).”

ア see    イ sent    ウ wait    エ these    オ one

**2** 次の1～6について、( )内のア～ウから最も適切なものをそれぞれ1つずつ選び、記号で答えなさい。

1. Kate ( ア doesn't    イ must not    ウ never ) gives up.
2. Jack is ( ア a    イ the    ウ very ) tallest in our class.
3. The letter made me ( ア child    イ happy    ウ slowly ).
4. I don't like this hat. Please show me ( ア other    イ others    ウ another ) one.
5. They ( ア aren't    イ never    ウ don't ) busy now.
6. Thank you for ( ア to come    イ coming    ウ to coming ) today.



**3**

次の1～3について、日本語の意味を表す英文になるように、( )に入る適切な語を答えなさい。

1. 彼はネコを探しています。

He is ( ) ( ) his cat.

2. そのかごはリンゴでいっぱいです。

That basket is ( ) ( ) apples.

3. 彼女はテレビをつけました。

She ( ) ( ) the TV.

**4**

次の1～4について、( )内の語句を日本語に合うように並べかえたとき、正しい順番になっているものをア～エからそれぞれ1つずつ選び、記号で答えなさい。ただし、( )の中で文頭にくる語も小文字で示している。

1. あなたは彼の本についてどう思いますか。

( ① about ② you ③ what ④ do ⑤ think ) his book?

ア ④②⑤③①      イ ④⑤②③①      ウ ③④②⑤①      エ ③⑤④②①

2. あとで、あなたに素晴らしいプレゼントをあげるよ。

I'll ( ① present ② give ③ wonderful ④ a ⑤ you ) later.

ア ⑤②④③①      イ ⑤③④①②      ウ ②③④①⑤      エ ②⑤④③①

3. 私たちは妹の面倒を見なければなりません。

We ( ① care ② to ③ of ④ have ⑤ take ) our little sister.

ア ④⑤②①③      イ ④②⑤①③      ウ ⑤②①③④      エ ⑤①③②④

4. このバスに乗れば空港に行けます。

( ① to ② take ③ this bus ④ you ⑤ will ) the airport.

ア ③⑤②④①      イ ③②①④⑤      ウ ④⑤②①③      エ ④②③⑤①

5

次の1～5について、( )に入る最も適切な文を下のア～オから1つずつ選び、記号で答えなさい。

1. A : You're home late today. What happened?  
B : I studied a lot at school today.  
A : ( ) You did a great job. Go wash your hands.  
B : Okay. I'm hungry.
2. A : Mom, did you check the delivery box today? I bought a hat on the Internet.  
B : It arrived this morning.  
A : That's really great! Yay! ( )  
B : I put it in your room.
3. A : Lately, the weather is not normal.  
B : It's been really hot.  
A : The lack of rain is also a problem. ( )  
B : Maybe we should start saving water.
4. A : Do you know when the meeting is?  
B : I haven't been told yet.  
A : Then, do you know where it will be held?  
B : ( )
5. A : Oh, you've got new glasses.  
B : Yes. I used my old ones for years.  
A : ( )  
B : Thank you.

- ア I wish I knew.  
イ Where is it?  
ウ You look so smart!  
エ Well done.  
オ Is there anything we can do?

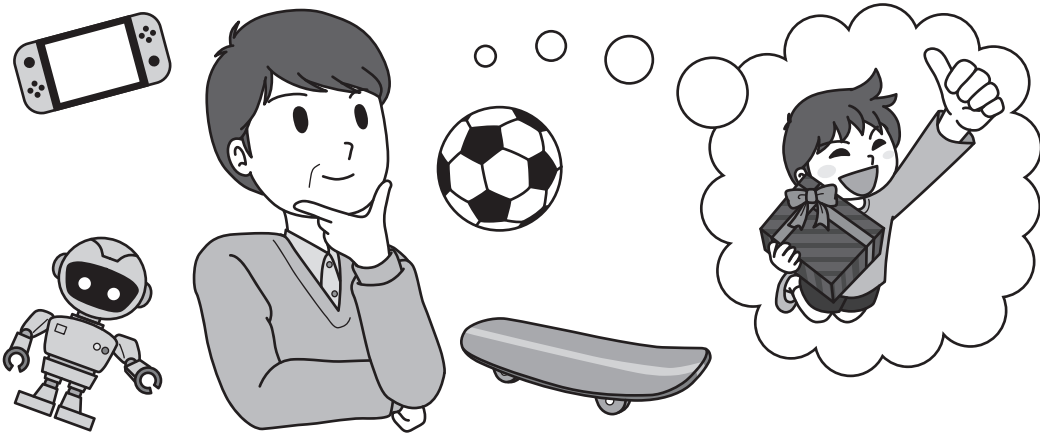
## 6

次の各問いに答えなさい。

1. 次のイラストを見て、英文を書きなさい。ただし、以下の条件にしたがうこと。

条件1 The man で書き始め、文中に his son を必ず使用し、10語以上の英語を用いること。ただし、2文以上になってもかまわない。

条件2 文末は「.」で終わり、符号は語数に含めない。



2. あなたの学校は、最寄りの駅からバスでは5分、歩くと15分かかる。普段の通学手段として、駅から学校まで「バス」と「徒歩」どちらを選ぶか。次の Question に対するあなたの考えを解答欄に合わせ、英文で書きなさい。ただし、以下の条件にしたがうこと。

Question : Which do you like better, taking a bus or walking to school? And why?

条件1 最初の文は、I like  better. を用いること。

条件2 最初の文を含めずに、10語以上の英語を用いること。ただし、2文以上になってもかまわない。

条件3 文末は「.」で終わり、符号は語数に含めない。

## Language Death

There are about seven thousand languages in the world. ( a ) you are surprised, but the number is going down at a very fast pace. Why is this happening, and what is the problem?

People stop using their own languages for some reasons. One of them is that young people have to use \*major languages such as English, Spanish and Chinese. ( b ), they need to learn and use them to get a job. In some countries, people who speak different languages work together. In such cases, popular languages such as English and Spanish are chosen as common languages. \*Moreover, a lot of international companies use English to work with foreign partners. People who speak \*minor languages are trying to \*preserve their own words, but ( a chance / difficult / for / have / is / it / them / to ) to use their languages in their daily lives. As a result, <sup>(1)</sup> minor languages are \*disappearing.

Then, what is the problem of language death? There are many kinds of cultures and people in the world. They have exchanged their \*lifestyles with others for hundreds of years, and it has created our society. Of course, language is one of the most important parts of culture. ( c ), about 230 languages have disappeared since 1950. If we lose these words more, we can say we will lose a part of the world. We must stop it to keep the world <sup>(2)</sup> colorful and interesting.

Modern people have killed many languages for their \*convenience. The world has become comfortable, but we have lost something important in the process.

(注) major : 多数派の      moreover : そのうえ      minor : 少数派の      preserve : 守る  
 disappear : 消える      lifestyle : 生活様式      convenience : 利便性



1. ( a ) ~ ( c ) に入る最も適切な語を次のア～エから1つずつ選び、記号で答えなさい。

ア For example	イ Especially	ウ However	エ Maybe
---------------	--------------	-----------	---------

2. 人々が言葉を失っていく主な原因の1つとして筆者が本文中で述べているものを次のア～エから1つ選び、記号で答えなさい。

- ア 世界の人口が減り、その言葉を話す人が減少しているから。
- イ それぞれの国が自分の国の言葉を広めようとしていないから。
- ウ 英語などの主要な言語を使用する必要性が高まっているから。
- エ 現代の若者は古い言葉に興味がないから。

3. 下線部(1)の ( ) 内の語を次の日本語の意味になるように並べかえなさい。

「彼らにとって、日常生活で自分たちの言語を使う機会を持つのは難しい。」

4. 下線部(2)を訳しなさい。

5. 本文の内容に合うものを次のア～キから3つ選び、記号で答えなさい。

- ア 世界には約700の言語がある。
- イ 世界にある少数派の言語は急速に失われつつある。
- ウ 国際的な会社の多くは、英語を使って外国の取引相手と仕事をしている。
- エ 少数派の言語は国際社会での就職において有利である。
- オ 今の社会は人々の長い文化交流が作り上げた。
- カ 言語は文化とは分けて考えられるべきである。
- キ 現代人は利便性のために新しい言葉を創ってきた。